

形鋼曲がり計

レーザー距離計を形鋼長手方向に移動させることで曲がりを測定する装置です。

特徴

- 製品寸法情報によりレーザー距離計測定位置がH形鋼フランジ幅の中央位置になるよう高さ設定後、曲がり測定を行います。
- 材料停止状態で測定を行いますでの、高精度な計測が可能です。
- 複数台のレーザー距離計を移動させることで、測定に要するサイクルタイムを短縮します。

対象材料

- H形鋼 ウェブ高さ400～1,000mm、フランジ幅200～400mm、長さ6.0～16.2m
(上記は納入実績によるもので、ご相談に応じます)

装置仕様

- 測定項目 形鋼全長における最大曲がり量と発生位置、
長手方向1m当たりの曲がり量分布
- 測定精度 $\pm 0.3\text{mm}$ (2σ)
- 装置構成 図1参照(レーザー距離計4台配置仕様)

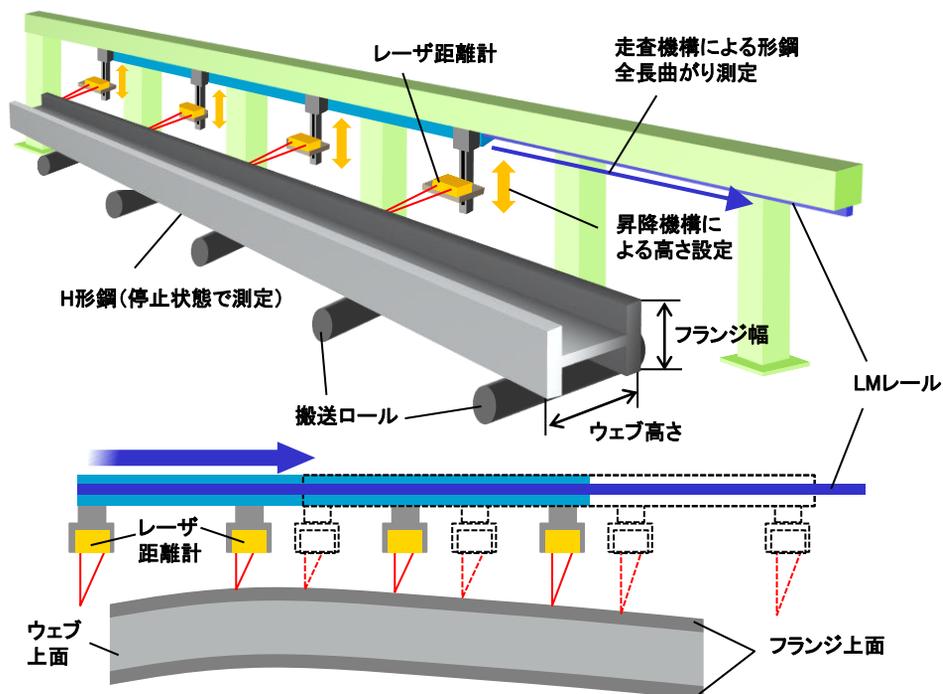


図1 装置構成

装置適用例

図2は、形鋼工場への曲がり計適用例です。

レーザ距離計4台を配列、高速で走査しながら1mmピッチで各距離計測定値を取り込み、5秒以内での測定を実現しています。

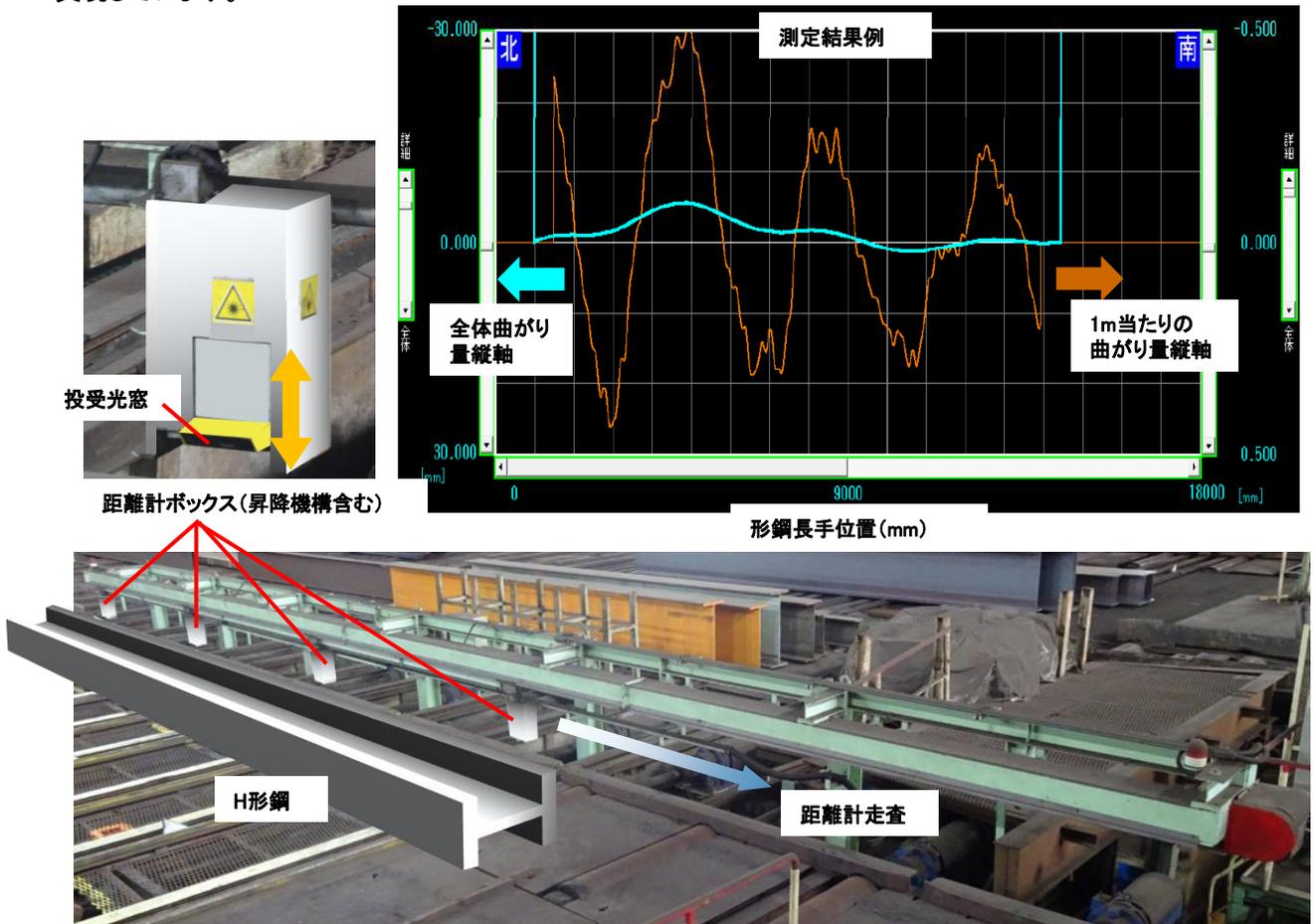


図2 装置適用例

その他

センサー一覧に戻る

是非ご相談ください。
<https://www.jfe-planteng.co.jp/>
最寄りの営業所・支店はHPをご覧ください。